

学位プログラム科目群(情報理工関連科目)

情報理工関連科目(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OBLD502	研究型インターンシップI	3	1.0	1-3	通年	随時	山口 佳樹, 二村 保徳, 金澤 健治, 五十嵐 康彦, 山際 伸一	先端的研究や技術開発を行う国内外の大学・研究機関・企業等に一定期間参画し、様々な情報技術の活用事例を学ぶとともに、次世代技術や次世代システムの研究開発能力、ヒューマンスキル等を獲得する。	O2CH204と同一。 対面
OBLD503	研究型インターンシップII	3	1.0	1-3	通年	随時	山口 佳樹, 二村 保徳, 金澤 健治, 五十嵐 康彦, 山際 伸一	先端的研究や技術開発を行う国内外の大学・研究機関・企業等に一定期間参画し、様々な情報技術の活用事例を学ぶとともに、次世代技術や次世代システムの研究開発能力、ヒューマンスキル等を獲得する。「研究型インターンシップI」を履修した後、さらに別の組織においてインターンシップを行う場合にはこちらを履修する。	O2CH205と同一。 対面
OBLD504	情報理工後期特別研究	3	6.0	1	通年	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	主指導教員、副指導教員の指導のもとで、情報理工学に関する研究を行うとともに、論文作成、および、研究室のセミナーにおいて研究討論を行う。	O2CH001と同一。 対面
OBLD505	情報理工後期特別演習A	2	2.0	1	通年	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学に関する研究を行い、進捗状況について、約2ヶ月ごとにレポートを作成する。	O2CH002と同一。 対面(オンライン併用型)
OBLD506	情報理工後期特別演習B	2	2.0	1-3	通年	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	研究セミナーで自身の研究内容について発表を行うとともに他の学生の発表を聴講し討論に参加する。もしくは、指導教員の了解のもと、自分の研究テーマに関連した分野の最新の研究トピックとその解法について学習する。	O2CH003と同一。 対面(オンライン併用型)
OBLD507	情報理工後期特別研究s	3	3.0	1	春ABC	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	主指導教員、副指導教員の指導のもとで、情報理工学に関する研究を行うとともに、論文作成、および、研究室のセミナーにおいて研究討論を行う。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。 対面(オンライン併用型)
OBLD508	情報理工後期特別研究f	3	3.0	1	秋ABC	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	主指導教員、副指導教員の指導のもとで、情報理工学に関する研究を行うとともに、論文作成、および、研究室のセミナーにおいて研究討論を行う。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。 対面(オンライン併用型)
OBLD509	情報理工後期特別演習As	2	1.0	1	春ABC	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学に関する研究を行い、進捗状況について、約2ヶ月ごとにレポートを作成する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。 対面(オンライン併用型)
OBLD510	情報理工後期特別演習Af	2	1.0	1	秋ABC	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学に関する研究を行い、進捗状況について、約2ヶ月ごとにレポートを作成する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。 対面(オンライン併用型)
OBLD511	情報理工後期特別演習Bs	2	1.0	1-3	春ABC	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	研究セミナーで自身の研究内容について発表を行うとともに他の学生の発表を聴講し討論に参加する。もしくは、指導教員の了解のもと、自分の研究テーマに関連した分野の最新の研究トピックとその解法について学習する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。 対面(オンライン併用型)
OBLD512	情報理工後期特別演習Bf	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	研究セミナーで自身の研究内容について発表を行うとともに他の学生の発表を聴講し討論に参加する。もしくは、指導教員の了解のもと、自分の研究テーマに関連した分野の最新の研究トピックとその解法について学習する。	秋入学者、および学位PLが認めた者のみ履修可。 対面(オンライン併用型)
OBLD513	AI応用研究インターンシップ	3	1.0	1-3	通年	随時	山口 佳樹, 五十嵐 康彦, 金澤 健治, 二村 保徳, 金森 由博, 山際 伸一	AI応用に関するいずれかの分野における先端的研究や技術開発を行う国内外の大学・研究機関・企業等に一定期間参画し、様々な情報技術の活用事例を学ぶとともに、次世代技術や次世代の研究開発能力、ヒューマンスキル等を獲得する。	ヒューマンセンターードAIカリキュラム履修者対象。 対面
OBLD514	情報理工分野横断後期特別演習	2	2.0	1-3	春ABC	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	数理応用分野とデータサイエンス分野を含む複数の分野の学生が順に研究発表を行う。学生同士で発表された研究の発展や新たな研究提案等について議論し、結果をまとめたレポートを作成する。	対面(オンライン併用型)
OBLD516	情報理工後期研究発表演習I	3	1.0	1-3	通年	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学分野の研究に関して国際会議、国際ワークショップ、国際セミナー等において、英語で効果的に発表する術を学ぶ、受講者は上記の集會等において、英語にて口頭発表もしくはポスター発表を実施し、質疑応答を行う。この過程を通し、研究力や専門知識のほか、国際コミュニケーション能力を養う。	対面(オンライン併用型)
OBLD517	情報理工後期研究発表演習II	3	1.0	1-3	通年	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当教員	情報理工学分野の研究に関して国際会議、国際ワークショップ、国際セミナー等において、英語で効果的に発表する術を学ぶ、受講者は上記の集會等において、英語にて口頭発表もしくはポスター発表を実施し、質疑応答を行う。この過程を通し、研究力や専門知識のほか、国際コミュニケーション能力を養う。	情報理工後期研究発表演習Iを履修した学生に限る。 対面(オンライン併用型)

OBLD518	情報理工後期研究発表 演習III	3	1.0	1 - 3	通年	随時	情報理工学位プログラム・CS専攻担当 教員	情報理工学分野の研究に関して国際会議、国際ワークショップ、国際セミナー等において、英語で効果的に発表する術を学ぶ。受講者は上記の集会等において、英語にて口頭発表もしくはポスター発表を実施し、質疑応答を行う。この過程を通し、研究力や専門知識のほか、国際コミュニケーション能力を養う。	情報理工後期研究発表演習IIを履修した学生に限る。 対面(オンライン併用型)
---------	---------------------	---	-----	-------	----	----	--------------------------	--	---